



平成25年8月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成24年12月28日

上場会社名 株式会社ヒマラヤ
コード番号 7514
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野水 優治
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 井上 卓郎
四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

上場取引所 東証一部・名証一部
URL <http://www.himaraya.co.jp/>
TEL (058) 271-6622
配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第1四半期の連結業績 (平成24年9月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第1四半期	14,176	8.0	△203	-	△163	-	△119	-
24年8月期第1四半期	13,126	-	△297	-	△305	-	△267	-

(注) 包括利益 25年8月期第1四半期 △95百万円 (-%) 24年8月期第1四半期 △270百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年8月期第1四半期	△9	74	-	-
24年8月期第1四半期	△22	18	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年8月期第1四半期	41,895		11,545		27.6
24年8月期	34,554		11,788		34.1

(参考) 自己資本 25年8月期第1四半期 11,545百万円 24年8月期 11,788百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
24年8月期	-	-	6	00	-	-	12	00
25年8月期	-	-	-	-	-	-	-	-
25年8月期 (予想)	-	-	9	00	-	-	9	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成25年8月期の連結業績予想 (平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 (累計)	31,500	5.2	600	△35.7	600	△34.6	250	△35.3	20	29
通期	66,000	7.1	2,300	9.6	2,300	9.2	1,300	44.3	105	51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無

② ①以外の会計方針の変更： 有・無

③ 会計上の見積りの変更： 有・無

④ 修正再表示： 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年8月期1Q	12,320,787株	24年8月期	12,320,787株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年8月期1Q	156株	24年8月期	155株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年8月期1Q	12,320,632株	24年8月期1Q	12,040,230株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(金額単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間および第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	1
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年9月1日～平成24年11月30日)における我が国の景気は、東日本大震災からの復興需要等を背景とした緩やかな回復がみられたものの、欧州や中国等、対外経済環境を巡る不確実性の高まりや円高の継続が輸出環境を悪化させていること、長期にわたりデフレ基調の経済環境が継続していることなどから、企業の業況判断は依然として厳しい状況が継続しております。雇用情勢は有効求人倍率が減少傾向に転じており、完全失業率は依然として高い水準で推移しております。また、消費税引き上げ決定による先行き不透明感からの消費マインド低下も懸念され、引き続き生活防衛意識の高まりから個人消費は厳しい選別基準を伴うものになると注視しております。

当第1四半期連結累計期間における連結会社の売上げは、一般スポーツ用品はランニングブームに代表される健康志向の高まりが継続していることにより、期間を通じてシューズを中心に関連商品群が好調であったこと、2014年サッカーワールドカップ最終予選での日本代表の活躍により市場が活性化したことなどから、前年同期比108.7%となりました。ゴルフ用品は厳しい消費環境下、ゴルフクラブは買換えサイクルが長期化する傾向が見られることなどから伸び悩みましたが、秋冬物ゴルフウェアが気温の低下に伴い順調に推移したことから前年同期比100.6%となりました。アウトドア用品は新規参入層の増加によるアウトドアフィールド需要の活性化、アウトドア系ブランドのタウンユースでのニーズの高まりが継続していることなどから、前年同期比124.6%となりました。連結売上総利益率は期間の後半で気温が低く推移したことにより、季節商材である冬物防寒衣料、雑貨の売上げがウインターシーズン初頭に好調であったことなどから37.7%となり、前年同期比で0.8ポイント増加いたしました。

店舗については株式会社ヒマラヤにて9月にクロスガーデン中津川店(岐阜県中津川市)、出水店(鹿児島県出水市)、10月に各務原インター店(岐阜県各務原市)、コムプラザ笠岡店(岡山県笠岡市)、越前店(福井県越前市)、11月に門真店(大阪府門真市)、呉駅前店(広島県呉市)、株式会社ビーアンドディーにて10月に青葉台店(横浜市青葉区)の8店舗を開店しました。また、株式会社ヒマラヤにて9月にゴルフ各務原店(岐阜県各務原市)、10月に竜ヶ崎ニュータウン店(茨城県龍ヶ崎市)、福井店(福井県福井市)の3店舗を閉店いたしました。これにより、平成24年11月末時点で当社グループの店舗数は全国に株式会社ヒマラヤ104店舗、株式会社ビーアンドディー30店舗となり合計134店舗、売場面積は232,402㎡となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は売上高14,176百万円(前年同期比8.0%増)、営業損失203百万円(前年同期は297百万円の営業損失)、経常損失163百万円(前年同期は305百万円の経常損失)、四半期純損失119百万円(前年同期は267百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は27,192百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,648百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,537百万円、商品が4,430百万円増加したことによるものであります。固定資産は14,702百万円となり、前連結会計年度末に比べ691百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が478百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は41,895百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,340百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は21,935百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,864百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が5,463百万円増加したことによるものであります。固定負債は8,414百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,719百万円増加いたしました。これは主に長期借入金1,668百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は30,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,583百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は11,545百万円となり、前連結会計年度末に比べ243百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失119百万円および剰余金の配当147百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は27.6%(前連結会計年度末は34.1%)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年8月期の連結業績予想につきましては、売上、利益とも概ね計画どおり推移していることから、平成24年9月27日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産（附属設備以外の建物を除く。）について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,570	6,107
売掛金	785	1,193
商品	13,974	18,404
貯蔵品	19	13
繰延税金資産	308	375
その他	885	1,097
流動資産合計	20,544	27,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,886	5,159
土地	1,476	1,476
建設仮勘定	20	25
その他(純額)	546	747
有形固定資産合計	6,930	7,408
無形固定資産		
のれん	306	287
ソフトウェア	318	313
その他	48	49
無形固定資産合計	674	651
投資その他の資産		
投資有価証券	538	563
長期貸付金	697	844
差入保証金	3,769	3,959
繰延税金資産	635	641
その他	790	658
貸倒引当金	△24	△25
投資その他の資産合計	6,405	6,642
固定資産合計	14,010	14,702
資産合計	34,554	41,895

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,026	14,490
短期借入金	2,300	2,000
1年内償還予定の社債	80	60
1年内返済予定の長期借入金	2,560	3,152
リース債務	11	9
未払法人税等	496	55
賞与引当金	457	647
資産除去債務	15	2
その他	1,122	1,517
流動負債合計	16,070	21,935
固定負債		
社債	15	—
長期借入金	4,965	6,633
リース債務	13	7
役員退職慰労引当金	311	311
退職給付引当金	185	196
ポイント引当金	120	120
資産除去債務	930	987
その他	153	158
固定負債合計	6,695	8,414
負債合計	22,766	30,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,544	2,544
資本剰余金	4,004	4,004
利益剰余金	5,223	4,955
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,771	11,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	41
繰延ヘッジ損益	△0	0
その他の包括利益累計額合計	16	41
純資産合計	11,788	11,545
負債純資産合計	34,554	41,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)
売上高	13,126	14,176
売上原価	8,277	8,836
売上総利益	4,849	5,340
販売費及び一般管理費	5,146	5,544
営業損失(△)	△297	△203
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	0	0
受取賃貸料	84	82
その他	27	60
営業外収益合計	116	147
営業外費用		
支払利息	23	20
不動産賃貸費用	94	76
その他	6	11
営業外費用合計	124	107
経常損失(△)	△305	△163
特別損失		
固定資産売却損	2	—
減損損失	—	7
店舗閉鎖損失引当金繰入額	99	—
特別損失合計	101	7
税金等調整前四半期純損失(△)	△406	△171
法人税、住民税及び事業税	13	23
法人税等調整額	△152	△74
法人税等合計	△139	△51
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△267	△119
四半期純損失(△)	△267	△119

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△267	△119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	24
繰延ヘッジ損益	0	0
その他の包括利益合計	△2	24
四半期包括利益	△270	△95
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△270	△95
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。